

やあまがた酒宵の歌 歌詞

1 番：

春風が運ぶ 香りたつ街
山の恵みよ 今宵（こよい）の さかずき
水面に映る 桜の花びら
心に咲かせる 酒の灯（ともしび）

（サビ）

さあ、今夜は やまがたの酒
心も満たす この一杯を
酒宵（さけよい）の宴（うたげ）に みんなで踊れ
地酒とワインで 笑顔をつなぐ

2 番：

大地が育む 葡萄の実たち
香るグラスに 広がる大空
ほろ酔い気分で 語り明かそう
友と過ごす 時間（とき）が宝物

（サビ）

さあ、今夜は やまがたの酒
心も満たす この一杯を
酒宵（さけよい）に 花咲くように
地酒とワインで 時間が（とき）が宝物

（間奏）

（サビ）

さあ、今夜は やまがたの酒
春の風と共に踊りだせ
酒宵（さけよい）に 心ほどいて
地酒とワインで 未来を描く